



竹林

白河市立五箇中学校だより No 16

発行日 令和4年7月20日
発行責任者 校長 小林 敏史



1学期無事終了しました。有意義な夏休みを！



本日で1学期が無事終了しました。大きな事故等なく、22名全員で終業式を迎えられたことを嬉しく思います。明日からいよいよ夏休みです。熱中症、感染症に気をつけることはもちろん、リズム正しい生活を心がけて、楽しく有意義な夏休みにしてください。

第1学期終業式 式辞

本日で1学期が無事終わることが出来ます。4月に比べ、一回り成長した皆さんと、今日を迎えられることを嬉しく思います。皆さんにとってこの1学期はどんな日々でしたか？

2年生の皆さん、中学校生活残り半分という意識で、様々なことにチャレンジし、自分の可能性を広げることができましたか？

3年生の皆さん、将来どんな大人になりたいか、どんな生き方をしていきたいか、そのために今、どうあるべきかという、広く長い視点を持って物事を考える習慣は身につきましたか？

そしてここにいる全員が「逃げないこと」「負けないこと」「諦めないこと」を心がけて生活できたでしょうか。

今お話ししたことは、すべて今年の4月の始業式でお話ししたことです。思い出せましたか？ 今一度自分自身の生活を振り返って見てください。

さて、私なりに自分自身の1学期を振り返って見ました。

新しい学校の環境に慣れるまで、期待と不安が入り交じって複雑な心境だったことはもちろんですが、それ以外にも日々いろいろなことに悩んだり、迷ったり、不安になったり。でも、前に進むしかない自分自身を励ます、そんな毎日でした。

失敗もたくさんしました。「ああ、やっぱりこうすれば良かったかな。」「なぜあのときこうしなかったんだろう。」と、毎日が反省の連続でした。

皆さんはどうでしたか？ でもこれは当然のことです。完璧な人間などいないのですから、失敗や過ちがあっても当たり前です。

私は、私たちが日々の生活の中で起こす失敗やつまづきは、より良い人間に近づくためのチャンスだと思っております。それがあからこそ、新しい気づきがあったり、より良い判断ができるようになったり、また一歩成長できるのです。

辛いこと、悲しいことも同じ。それを経験するから、同じ立場の人の気持ちが分かる人になれます。悩んだり苦しんだりすることも同じ。それを経験するから、深く物事を考えることができるようになります。そして、嬉しいこと、楽しいことは、次のステージに向かうエネルギーになります。

つまり、私たちの毎日経験している嬉しいこと、悔しいこと、悲しいこと、楽しいこと、一つ一つの出来事に、無駄なことなどないということです。確かに毎日笑顔で穏やかに暮らせることは幸せです。でも喜怒哀楽という、人間の持つ感情があふれる生活は、もっと大きな幸せをつかむために必要な事なのではないかと思えます。

夏休みは約1ヶ月あります。長いようで短い期間です。今お話ししたような経験をできるだけ積んで、また一歩成長して、2学期にいいスタートを切りましょう。

8月22日の始業式で、皆さんのたくさんの笑顔に会えることを楽しみにしています。

令和4年7月20日

五箇中学校長 小林 敏史

< 2学期 第1週の予定 >

22	月	第2学期始業式 英語弁論大会壮行会 特設合唱部演奏披露 給食なし ※ 11:40完全下校
23	火	夏休み課題テスト(2年) 実力テスト(3年)
24	水	東西しらかわ中学校音楽祭(コミネス) 弁当持参日
25	木	未来フォーラム(2,3校時) 諸会費納金日
26	金	東西しらかわ英語弁論大会(矢吹町文化センター)

27日(土)は、第1回数学検定があります。受験する皆さん、頑張ってくださいね。

◇◇ 今週の言葉 ◇◇

頭も、身体も、そして心も
使った分しか
強くなりません。



～ 使って、使って、使って 鍛える夏にしよう! ～